

令和4年度 第2回博物館協議会 (抄録)

日 時	令和4年9月30日(金) 午後1時30分～2時30分	
場 所	安城市歴史博物館2階講座室	
出席委員	高山 忠士	会長
	加藤りせ子	副会長
	松永 博司	
	荒井 信貴	
	市川とし子	
	平岩 政志	
事務局	加藤 浩明	生涯学習部長
	邨澤 英夫	文化振興課長
	片岡 晃	安城市歴史博物館館長
	野上真由美	学芸係長
	三島 一信	専門主査
	日倉めぐみ	専門主査
	西島 庸介	専門主査
	井上宗一郎	指定管理者
		安祥文化のさと地域運営共同体総括責任者
	早川 博貴	指定管理者
		安祥文化のさと地域運営共同体副総括責任者

次 第

- 1 市民憲章
- 2 あいさつ
- 3 協議事項
 - (1) 令和4年度開催済事業報告
 - (2) 令和4年度下半期事業(案)
 - (3) 令和5年度事業計画
- 4 その他
 - (1) 歴史資料の購入について
 - (2) 今後の日程

協議事項

(1) 令和4年度開催済事業報告

事務局	【令和4年度開催済事業報告について説明】
指定管理者	【令和4年度開催済事業報告について説明】
会長	事務局の説明が終わりました。質問等がございましたらお願いします。
委員	<p>「怖—い浮世絵」は巡回展ということで他館のプランニングは確認されていると思いますが、安城市の企画展示室は狭いです。化け物・妖怪屋敷だからいいのかもしれませんが、今回のコレクションは質が高いものですので、一点一点もう少し見せる展示ができれば良かったと、展示空間のぎすぎす感が強かったと感じました。そういう意味で目標入館者数が7000人ということもあったかもしれませんが、もう少し集客を狙うというか、資料をしっかりと見せるということでは、今後、こうした展示については市民ギャラリーの活用を考えてみてはいかがでしょうか。</p> <p>また、夏休みの企画として若い親子が多く入ってとてもよかったと思いますが、子どもが見学するため、子どもを少しでも射程に入れた展示であったのであれば5～10cmほど絵の高さを下げてもよかったのではないかと思います。見学者をどこに設定したかということになりますが、子どもの身長はすぐに伸びない、大人はしゃがむことができるので、そうした配慮があってもよかったかもしれません。</p>
委員	<p>夏休みに若い世代、特に子ども連れの世帯には、コロナで遠出できないため、近場で楽しもうということでとても良い企画になったと思います。児雷也やお岩さんなど私たちにとって身近で懐かしい物語が若い世代に興味を持っていただけるのかなあと感じてましたが、みなさんがしっかり見学されている様子を見て安心しました。ただし、子どもたちにとってはちょっと難しいかなあと感じました。最後の狐の物語のようなものは良いかなあと感じまして、子どもたちにはお化けよりも妖怪が身近だと思うので、そうした子どもたち世代に向けたコーナーを設置しても良かったのではないかと思います。今後の夏休みの企画展には検討いただければと思い</p>

	<p>ます。</p> <p>また、最終日は企画展示室への入場制限もあり、1時間の待ち時間を利用して常設展示を見ました。常設展示はいつも同じという印象があったわけですが、展示替えも行われており、また影絵のような展示以外の部分でも楽しめる内容となっていました。常設展示ももう少しPRできると良いと思いました。</p>
委員	<p>学校の関係からお話しさせていただくと、子どもたちに全員配布する夏休み前の博物館のイベント案内のチラシについて、毎年洗練されてコンパクトにまとめられてわかりやすいです。</p> <p>自由研究に関して言えば、学校教育課が主催する「かがくのひろば」だけでなく、社会科部会としては「歴史のひろば」についても力を入れている部分です。数学分野や統計コンクールを含め、自由研究は親と一緒にできる唯一のものです。しかもコアな部分について深掘りすることもでき、細かく見ていくという点では「かがくのひろば」よりも「歴史のひろば」は自分で進めていくことができるという長所もあります。自由研究相談会の申し込みが多かったということは非常に良いことで、また各校長にも報告しておきたいと思います。今後、夏休みの宿題がなくなることも考えられますが、自由に研究する姿勢を養うことができる機会は非常に貴重だと考えます。安城市のように「歴史のひろば」という自由研究の場を設けており、さらには自由研究相談会も実施している市は全国的に見ても少ないと思います。「歴史」「自由研究」で検索してみると安城市のホームページがひっかかる機会が多く、そうした取り組みを横のつながりを持ちながら、さらに広げていけると良いと思います。</p> <p>「怖—い浮世絵」の目玉のコラボメニューについてSNSで知りました。自分もそうしたことに興味があって高浜市かわら美術館の1階のレストランでレオナルド・ダ・ヴィンチの展示物をオマージュしたフルコースも食べましたし、かつて豊田市美術館のクリムト展も同じようにオマージュしたフルコースがありました。喫茶店ですので肩ひじ張ったものでなくても良いですが、そうしたコラボメニューについては展示チラシで紹介されてみてはいかがでしょうか。安祥文化のさと全体の内容をチラシに盛り込めば、相乗効果が期待できる、指定管理者とも共同して盛り上げていけると思いまし</p>

	た。今回の「養生から健康へ」展のコラボメニューについてもSNSで知るのではなく、チラシ等に表示されていれば、より市民に伝わったと思いました。
会長	他によろしいですか。無いようですので、次に移ります。

(2) 令和4年度下半期事業(案)

事務局	【令和4年度下半期事業(案)について説明】
指定管理者	【令和4年度下半期事業(案)について説明】
会長	事務局の説明が終わりました。質問等がございましたらお願いします。
委員	<p>文化振興課の文化財係の方で、「どうする家康」観光ガイドボランティアの養成講座を開催しており、非常に人気のあるものになっています。安城市歴史博物館でも来年に三河一向一揆展をやるということで、安城市がかなりやる気になっていると、愛知県の観光ボランティアの会議に出ると言われています。愛知県も力が入っており、これから家康関係の七市町で推進委員会を作ろうという話にもなっています。</p> <p>私は、他の博物館協議会委員の方と意見が違いますが、博物館は文化施設ではなく観光施設だと思っています。博物館は敷居が高いと思われがちですが、人が集まる観光地の施設になれば良いと考えています。博物館の展示はもちろんのことですが、安城城(安祥城址)、本證寺も一体として集客できるような家康に関わる企画展を期待しています。そのためにボランティアも勉強しています。そのガイドについては観光的な考えによると話を盛ってしまう傾向がありますが、文化財としては史実に忠実ということでそれでは逸脱してしまいます。そうした齟齬が生じてしまうと思いますが、観光ボランティアとして了解いただければと思います。</p> <p>今年の夏は高知県で博物館や植物園を見学してきました。近々、朝の連続テレビ小説の舞台にもなるということで非常に力が入っていますが、博物館で感心したことは老眼鏡を使うような我々の世代でも読める展示解説の字の大きさ、固有名詞にはすべてふりがながあるということです。また、広い展示空間ですので休憩スペースも適宜ありました。またミュージアムショップも充実しています。</p>

	安城市の歴史博物館においては、市民ギャラリーも含めてそうしたことを考えていただけるとうれしいです。
委員	博物館と観光の関係はとても難しいですね。個人的には、今回の「どうする家康」観光ガイドボランティアは商工課を主管課とするような内容だと思います。それであれば、商工的なガイドをすることについて心配されることは必要なかったと感じます。文化振興課が主管であるため、ボタンの掛け違いのような形になってしまっていると考えています。
委員	私も今でもそう思います。
委員	情報提供ということで、高棚小学校が開校150周年ということで11月14日に石川喜平の劇をやります。ご承知おきをください。
会長	他によろしいですか。無いようですので、次に移ります。

(3) 令和5年度事業計画

事務局	【令和5年度事業計画について説明】
委員	事業計画をみると、2年間、村絵図の連続講座を担当してみても、フィールドワークに対して興味を持つ人が多いことを感じました。しかも、それは一過性のことではなくて深い興味を持つ人が多いことを実感しています。来年度事業計画をみると、フィールドワークができそうな内容となっていますので、企画展にあわせてフィールドワークを含めた講座をお願いできればと思います。
会長	それではほかに無いようですので、これをもちまして協議事項を終了いたします。ありがとうございました。
事務局	慎重審議、どうもありがとうございました。

4 その他

(3) 歴史資料の購入について

事務局	先日、8月11日に臨時で開催させていただいた協議会において歴史資料の購入を検討いただきました。ご意見いただいた内容を踏まえて、これから購入手続きを進めていく所存ですので、改めて確認のほどよろしくお願いたします。
-----	---

(4) 今後の日程

事務局	博物館協議会と文化財保護委員会の合同研修会はコロナの関係で中止となりました。第3回博物館協議会は令和5年2月9日(木)に開催する予定です。詳細は改めて通知させていただきます。よろしくお願いいたします。
-----	--